

平成25年6月16日
今週のベストショット



雁レク7 三苦フレンズ 対 三苦ホーネッツ

打ってはHR、二塁打、投げては完投勝利の三苦ホーネッツ井手崇運投手。

写真：奈多フェニックス 太田敏治

雁レク7 ホーネッツのベテランバッテリーが奮闘！

三苦フレンズ (0勝3敗) 0 2 0 0 2 4 生野●ー佐藤

三苦ホーネッツ (1勝1敗) 2 2 0 4 5 13 井手○ー松尾

HR：寺山、生野（三苦フ）井手（三苦ホ）2BH：田中、寺山、佐藤（三苦フ）4ー11で、井手、塚（三苦ホ）一回裏ホーネッツは4四球と制球に苦しむフレンズ先発の生野投手からノーヒットで2点を先制するが、二回表フレンズ五番寺山選手が右越えHRを放ち同点に追いつく。しかし、二回裏ホーネッツ四番松尾選手が内野安打で2点を挙げ逆転すると、さらに四回にはホーネッツ井手投手が左越え2ランで追加点を挙げ、さらに最終回、この日共に3安打目となるベテラン松尾選手の左前タイムリーと井手投手の右中間二塁打でダメ押しとなる5点を挙げホーネッツがフレンズから快勝した。（記事：奈多フェニックス 今林文彦、写真：太田敏治）



二回表、HRを放ち喜びのホームを踏むフレンズ寺山選手。

ベテラン井手選手の一発でチームの勝利を手繰り寄せた。



五回表、フレンズ生野選手の左中間のホームラン。



打の活躍を見せたホーネット松尾捕手。

奈多グラウンド レッド土師選手の丁寧なピッチング、田中選手のこれぞホームラン！にて今季初勝利！！

塩浜ジャガーズ（1敗1分）00004 4 立石、荒木●一堀内

レッドサンデーズ（1勝3敗）51302 11 土師○一前田

HR：田中、折居（レッド） 2BH：神田（レッド） 荒木、立石（塩浜ジ）

盗塁：田中、八島、折居、壱岐（レッド）、荒木、岩崎、田中（塩浜ジ）

一回表塩浜ジャガーズは、レッドサンデーズ土師投手の丁寧なピッチングの前に三者凡退。その裏ジャガーズ先発立石投手が6四死球の乱調に加え、代わった荒木投手からレッド土師投手自らタイムリーヒットを放ち、打者一巡で一挙5点を先取！！二回表ジャガーズは四球のみで攻略できず。三回裏レッド稲又選手のレフト前ヒット、続く田浦選手がゲッツーで二死となりこのままチェンジかと思われたが、続く折居選手が四球、二番壱岐選手のライト線を抜けるヒットにエラーが絡み6点目。そしてこ一番の主砲田中俊弘選手のライト上段にライナーで突き刺さる見事な2ランにて8点目をゲット！！四回裏はジャガーズ荒木投手が無得点に抑え、いよいよ反撃の五回表。ジャガーズ六番竹尾選手がセンター前、続く稗田選手がショートゴロにてランナーがアウト。すぐに稗田選手が盗塁、八番岩崎選手が四球を選び、九番田中選手が足をいかしたバントヒットとし満塁とすると、一番荒木選手の右越え二塁打を放ち、まずは2点を返す。二死となるも三番立石選手のあわやHRかと思わせたレフトフェンス直撃の二塁打で4点目。ジャガーズ反撃の狼煙を上げたが、後続が倒れここまで！！五回裏は、先週に続きレッド折居選手が2ランを放ち11点を挙げゲームセット！！ジャガーズ打線を丁寧に抑えた土師投手の粘りと、ここぞという場面で打つべき人が打ったレッドサンデーズが今季初勝利をもぎとった試合だった。

（記事：ブルーマーリンズ 末松勝祝、写真：中村大輔）



一回裏、レッド土師選手のタイムリーヒット。



二回裏レッド五番神田選手のタイムリーで壱岐選手生還。



キャッチャーへのコンバートで初勝利のレッド前田捕手。



五回裏、ジャガーズ田中選手のバントヒットで反撃開始。



五回表、ジャガーズ立石選手の左フェンス直撃弾。



五回裏、取られた後にレッド一番折居選手の2ランが炸裂！



今季初勝利のレッドサンデーズ。



初勝利のヒーロー、左から田中、土師、峯岐、折居選手。

青松園A 雁の巣ライナーズが着実に得点し、見事勝利！

雁の巣ライナーズ (2勝1分0分) 1 1 2 1 1 6
 ソルトバイスターズ (1勝1敗1分) 0 0 0 1 0 1
 2BH : 久保田、宇野 (雁)

鳥越○-明瀬 (旭)
 中村 (耕) ●、八柄一酒井

雁ノ巣ライナーズ鳥越投手、ソルトベ이스ターズ中村耕一郎投手の投げ合いで始まった初回、ライナーズ一番中口選手がセーフティバンドで出塁すると、四番久保田選手がライナーで右中間を破るエンタイトル2ベースで1点を先制。その裏、ソルトベ이스ターズは制球が定まらない鳥越投手から四球と四番酒井選手がヒットで一、三塁とするが、五番中村(耕)選手がレフトフライに倒れ得点できず。二回表ライナーズは、エラーで出塁した明瀬(航)選手を一番中口選手がライト前タイムリーを放ち1点を追加。三回表にもライナーズはヒットとエラーを絡めて2点を追加した。一方、ソルトベ이스ターズは二回、三回と鳥越投手を崩せず三者凡退。四回表ライナーズは三番宇野選手がレフト前で出塁すると、四番久保田選手は四球で一、二塁とした。ここで、ソルトベ이스ターズはピッチャーを中村(耕)投手から三塁を守っていた八柄選手に交代。八柄投手はその後、満塁とするも二死までこぎつけるが代打、岩崎選手に四球で一点を与えてしまう。四回裏、ソルトベ이스ターズ三番森(哲)選手がバントヒットで出塁すると、四番酒井選手がライト前ヒットで一、三塁とする。ここで五番中村(喜)選手がタイムリーヒットを放ち、1点を返した。しかし、後が続かず1点止まり。五回表もライナーズは得点を重ねるが、ソルトベ이스ターズはその裏、鳥越投手を打ち崩せず、三者凡退でゲームセットとなった。DP、FPを駆使し、毎回ランナーを出すと、確実に点を重ねるライナーズの戦略と安定感を感じる打線が印象的だった。また、ソルトベ이스ターズは初回に、まだ制球が定まらない鳥越投手を打ち崩せたら流れが違ったように感じた試合だった。(記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則)



ソルト先発、中村耕一郎投手。



ライナーズ先発鳥越康介投手。



二回表、ライト前タイムリーを放つライナーズ中口選手。



二回表、生還するライナーズ明瀬(航)選手。



二回裏、本塁を死守するソルト酒井捕手。



三回表、懸命に伸びて送球を受けるソルト田中一塁手。



四回表、レフト前を放つライナース宇野選手。



四回裏、ソルト中村(耕)選手のタイムリーで1点を返す。



四回裏、ライト前を放つソルト酒井選手。



五回表、激走するライナース宇野選手。

雁レクB 圧巻の奈多クラブ今林瑠選手！

奈多クラブ (2勝0敗) 100300 4 今林瑠○ー赤沢

奈多サンデーズ (2勝1敗) 000100 1 江口●ー荒口

HR: 今林瑠 (奈多ク) 大沼 (奈多サ) 2BH: 土田 (奈多サ) 盗塁: 江口 (奈多サ)

先手を取ったのは先攻の奈多クラブ。初回、相手エラーで出塁したランナーを、四番今林健選手がセンター前へのタイムリーを放ち幸先良く先制。その後、両エースの投げ合いで試合は三回までヒットが出ない展開となっ

た。試合が動いたのは四回、1点リードの奈多クラブが六番今林瑠選手の2ランホームランなどで3点を追加しリードを4点とした。しかし、その裏ここまでノーヒットに抑えられていた奈多サンデーズが反撃に転じる。1アウトとなった後、四番大沼選手がレフトへの特大ホームランを放ち1点を返すと、続く5番土田選手がツーベース、6番江口選手がショートへの内野安打と、一死一三塁とホームランが出れば同点という場面を作る。しかし、今林投手は後続を打ち取り、この最大のピンチを最小失点で乗り切った。試合はそのまま4対1で奈多クラブが逃げ切る形となった。奈多サンデーズの強力打線に対し、要所でチェンジアップを効果的に使い押さえ込んだ今林投手の見事なピッチングが印象的な試合であった。(記事、写真：三苦三球会 小倉圭太)



一回表、奈多クラブ四番今林健選手が先制のタイムリー。



四回表、犠牲フライで貴重な追加点を上げる今林祐将選手。



四回表、奈多クラブ五番今林瑠選手の2HRで追加点。



四回裏、奈多サンデーズ四番大沼選手の特大HR。



強打のサンデーズ打線を1点に抑える力投を見せた、奈多クラブ今林瑠投手。



味方の援護を信じて力投した奈多サンデーズ江口投手。

第5週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第5週は前日の雨もあがり4試合が行われました。

雁レク7の三苦フレンズ対三苦ホーネッツ戦は、お互い8安打同士だったが無四死球のホーネッツ井手投手に対し、8四球のフレンズ生野投手の差がそのまま結果に表れ、4-13でホーネッツの勝利。また見逃せないのがホーネッツの5犠打4盗塁。バントや犠飛に足を絡めての得点と、試合巧者ぶりがスコアブックから伺えました。共に3安打を放ったホーネッツ井手-松尾選手のベテランバッテリーの打撃もさることながら、ホーネッツを上回る4長打をフレンズに打たれながらも4点に抑えた投球術をフレンズの二十代バッテリーは参考にしてみてもはどうだろうか。

奈多グラウンドの塩浜ジャガーズ対レッドサンデーズ戦は、これまでメンバーが揃わず開幕3連敗中のレッドに対し、エース内田投手を欠くジャガーズの対戦だったが、序盤で試合は決した。ほぼフルメンバーが揃ったレッドは初回、ジャガーズ先発の立野投手の制球難でランナーを溜め、1安打で5点を先制するとその後も攻撃の手を緩めず計11点を挙げた。打撃に集中できたレッド主砲田中選手の技ありHRと2試合連続HRの折居選手の活躍に触発されたレッド土師投手が、四回までノーヒットピッチングの完投で4-11と初勝利。五回表に反撃したジャガーズの集中力が初回から出ていればよかったが、どこかに油断があったようにも思えた試合だった。

青松園Aの雁ノ巣ライナース対ソルトベイスターズ戦は、小刻みに毎回得点を挙げたライナースが、不安定な鳥越投手をよく盛り立て、ソルトを4安打に抑え6-1で2勝目。ソルトも初回到ランナーを出すも、最初のチャンスである二番八柄選手の盗塁を刺したライナース明瀬捕手がソルトへの流れを断ち切ったとも言えるだろう。インサイドワークに加え、盗塁を防ぐ捕手の活躍にも注目したい。

雁レクBの奈多クラブ対奈多サンデーズ戦は、開幕戦でノーヒットノーランを達成した奈多クラブ今林瑠投手を強力サンデーズ打線がどう打ち崩すかに注目が集まったが、サンデーズを四番大沼選手のHRの1点に抑えた今林瑠投手が自らも2ランを放てば、投げても5三振を奪い4-1で勝利。少ないチャンスを確実にものにしていく奈多クラブの勢いは昨年とは比べられません。この調子で最後まで行くのか？サンデーズはこの敗戦を次にどう活かすのか？

梅雨真っ盛りのこの時期。毎週末の天気予報が気になります。しかし、しっかり準備をして悪条件でも最高のパフォーマンスを発揮してもらいたいと思います。